

令和7年度 第1回 横浜市大佛次郎記念館指定管理者選定評価委員会 会議録

1 日 時 令和7年8月7日（木） 13時27分～14時40分

2 場 所 大佛次郎記念館会議室

3 出席者 富岡 幸一郎 委員、中垣 理子 委員、中村 美帆 委員、古本 悦子 委員、  
八ッ橋 治郎 委員

4 欠席者 無し

5 傍聴者 無し

6 議事内容

議題	<p>1 委員長の選任</p> <p>2 定足数の確認</p> <p>3 委員会の公開・非公開</p> <p>4 議題：令和6年度業務評価</p>
議事・ 委員意見等	<p>1 委員長の選任 委員の互選により、八ッ橋委員を委員長に選出した。</p> <p>2 定足数の確認 委員数5名のうち5名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>3 委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市大佛次郎記念館指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、「議題：令和6年度業務評価」の審議については公開とした。</p> <p>4 議題：令和6年度業務評価</p> <p>(1) 評価関係資料について</p> <p>ア 評価資料及び評価方法の確認 事務局から、評価に使用する資料、評価方法について説明があった。</p> <p>イ 指定管理者業務実績及び自己評価について 指定管理者から、令和6年度の事業報告及び収支決算について、実績及び自己評価についての説明があった。</p> <p>ウ 行政評価について 行政評価シートに基づき、事務局から行政評価の要点について、説明があった。</p> <p>(2) 指定管理者へのヒアリング、評価・改善点の説明 委員から指定管理者に対する質疑及び評価内容（評価する点、更なる取組を期待する点）の説明を行った。</p>

ア 「使命1」及び「使命2」について

(ア) 質疑（以下「・」は委員、「⇒」は指定管理者）

- ・資料修復の優先順位について、どのような基準で選定しているのか。修復が必要な所蔵品の量や状態はどうか。

⇒ 所蔵資料には紙資料や美術品など、大佛次郎の時代に収集された古いものが多く、紙自体の劣化が進んでいるため、修復の必要性が高まっている。修復対象の選定は、資料の保存状態や公開の可能性を考慮し、予算の範囲内で優先順位をつけて計画的に進めている。

- ・若年層や女性層へのアプローチについて、どのような工夫をしているか。

⇒ SNSを活用した広報活動や「ねこ写真展」など、親しみやすいテーマを入口として来館者の関心を引き、展示への導入を図っている。  
建物の魅力や猫をテーマにした展示が来館者に好評であり、SNSでの投稿に対してリアクションやリポストを行うことで、さらなる周知を図っている。

(イ) 評価

【評価できる点】

- ・デジタルアーカイブの構築と資料公開が着実に進展しており、画像データの公開件数の増加も含め、研究者や市民の利用促進に貢献している点を評価する。
- ・『おさらぎ選書第29集』の刊行により、調査研究成果を形に残し、広く発信することができた。
- ・限られた予算内で資料修復を実施しており、運営面での工夫が見られる。
- ・『鞍馬天狗誕生100年展』では、映像を含む立体的な展示構成が採用されており、幅広い層への訴求力があつた。
- ・地域団体や他施設（山口蓬春記念館等）との積極的な連携が、地域資源の活用として高く評価したい。
- ・展示解説やミニミニトークなどの来館者参加型企画が、継続的に設けていることを評価したい。

【更なる取組を期待する点】

- ・デジタルアーカイブの継続的な充実と、長期的な計画に基づく運用が求められる。
- ・大佛次郎を知らない層にも親しみやすいテーマ設定や多様な切り口による展示企画の工夫など、初心者にも分かりやすい視点での紹介を通じて、新たな層への普及を図ることが期待される。

イ 「使命3」及び「使命4」について

(ア) 質疑（以下「・」は委員、「⇒」は指定管理者）

- ・「ねこ写真展」の応募数が増えているが、展示場所をさらに増やすことは可能か。

⇒展示スペースの制約があるため、今年度は1人あたりの応募点数を3点

から2点に制限して対応する予定。

- ・ビブリオバトルに関して教育委員会から講師依頼があるなど、学校活動への浸透の可能性があるが、授業への組み込みなど、今後の展開について検討しているか。

⇒昨年度の講師依頼に続き、今年度も研修会で教育委員会の担当者にチラシを渡し、取組を説明。その場で講師依頼の相談があり、今後も地道な活動を通じて学校との協力体制を築いていきたいと考えている。

#### (イ) 評価

##### 【評価できる点】

- ・「ねこ写真展」や「ビブリオバトル」が定着し、地区センターでの子ども向けビブリオバトルの実施などの関連の取組が行われ、参加者の裾野が広がっている点を評価する。
- ・「ビブリオバトル」や講座、ガイドツアーなど多様な取り組みが行われており、文字・読書文化の普及に貢献している点を高く評価する。
- ・和室の利用事例紹介や公開により、新規利用が増加した点を評価する。

##### 【更なる取組を期待する点】

- ・「ねこ写真展」については、応募数の増加に伴い、投票しやすい工夫など、次の段階への発展を期待したい。
- ・「ビブリオバトル」の参加校をさらに増やすための働きかけを期待する。
- ・会議室や撮影利用の件数が減少しているため、ブログ等を活用した利用促進の強化を期待する。

#### ウ 「使命5」「使命6」及び「使命7」について

(ア) 質疑（以下「・」は委員、「⇒」は指定管理者、「➡」は市）

- ・収支決算書の「その他保全費」「消耗品費」「手数料」などが増加している理由は。  
⇒樹木剪定の追加実施、パソコン購入、キャッシュレス決済手数料の増加などが要因となっている。
- ・老朽化により修繕が今後増える見込みだが修繕費の増加に対して、今後の対応見込みは。中長期的な修繕計画や大規模修繕の計画はあるのか。  
⇒設置者と連携し、優先順位をつけて対応していく。
- ➡建物は開館から40年以上経過しており、老朽化は認識している。現時点では運営に支障が出ないよう、優先順位をつけて計画的に修繕を進めている。将来的には構造的な改修も必要になる可能性がある。
- ・ネットワークの継続維持の具体的な課題事例は。  
⇒「野尻抱影展」では、星に関する展示資料「ロング・トム」が前回から10年空いており、今回は生誕150年に合わせる予定。この間の継続的な連携や発信方法の確保が課題と捉えている。
- ・利用者へのヒアリングはどのような手法で実施したのか。また、どのような意見が出たのか。  
⇒常連団体に声をかけ、オンラインで意見交換会を実施した。

	<p>この環境がよいので会議室を利用したいという肯定的な意見が概ねとなるが、一方で会議室の椅子が重くレイアウト変更が困難との指摘や車での搬入経路が難しいという意見があった。</p> <p>(イ) 評価</p> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的な作家・大佛次郎の特性を活かし、他館や地域団体との連携が進んでいる点を高く評価する。</li> <li>・事業収入が予算を大きく上回っており、施設や設備の管理が丁寧に行われており、施設管理に起因する事故が1件もなかった点も高く評価できる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策が継続的に実施され、利用者とスタッフの安全が確保されている点を評価する。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に関連する地域との交流を含め、さらに広範なネットワークの構築と継続的な連携の強化を期待する。</li> <li>・今後も計画的かつ早期の修繕対応に努めてほしい。</li> <li>・直営施設での実例となるが、クラウドファンディングなど新たな資金調達手法の可能性も視野に入れた柔軟な施設運営も検討してもよいのではないかな。</li> </ul> <p>エ 「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料のデジタルアーカイブ化とその公開において顕著な進展が見られたこと、展示内容の充実、他館との連携など施設運営の成果が出ていることを高く評価したい。</li> <li>・持続可能な施設運営に留意しながら積極的な活動展開を引き続き期待したい。</li> <li>・大佛次郎という多くの魅力あるコンテンツを持った人物を多様な形で発信し続けてほしい。</li> <li>・令和6年度の記念館運営は、目標実績値との乖離もなく、安定的に遂行された。これまで継続してきた企画の取り組みが単年度の成果にとどまらず、来年度以降の展開につながる継続的な活動として評価できる。</li> </ul> <p>5 まとめ</p> <p>本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを見直し、事務局で調整のうえ、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。</p>
審議結果	<p>「議題：令和6年度業務評価」について、本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。</p> <p>また、議事録については委員長確認後に確定のうえ、公表する。</p>